

HPVワクチンのキャッチアップ接種を希望される方へ

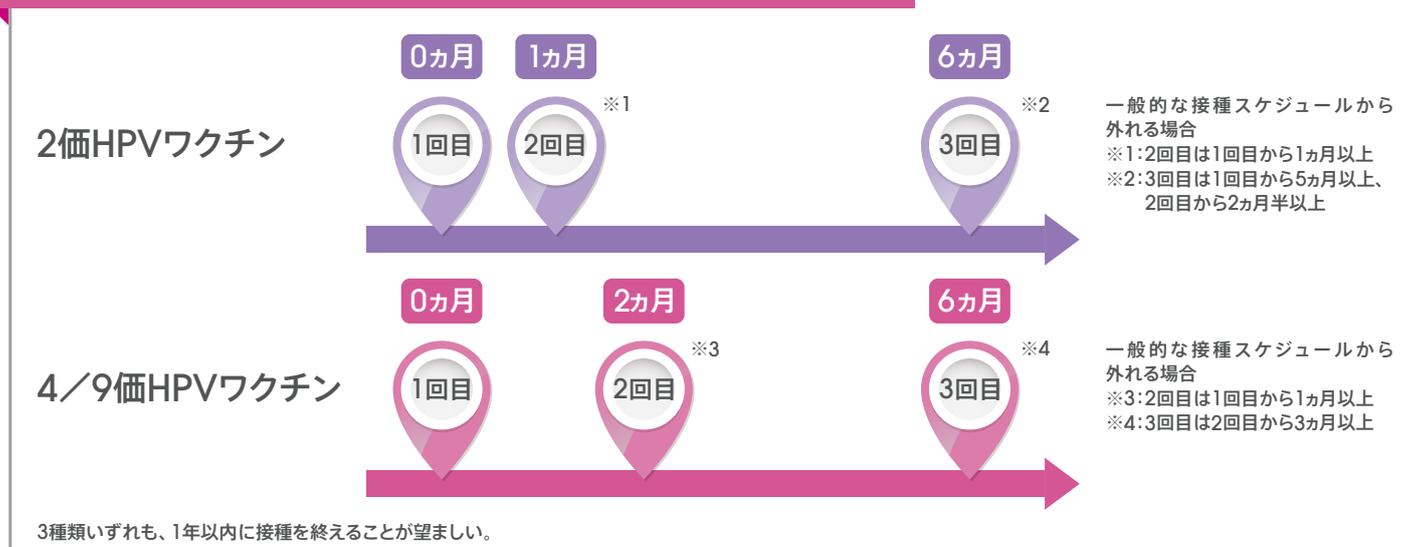
－ 1997年4月2日～2008年4月1日生まれ(16～27歳)の女性 －

HPVワクチンの定期接種の対象であった期間(小学校6年生～高校1年生相当)に接種機会を逃した女性や接種を完了していない女性は「キャッチアップ接種」として、公費(原則、自己負担なし)で接種が受けられます。

2024年度 HPVワクチンのキャッチアップ接種対象者¹⁾



キャッチアップ接種における一般的な接種スケジュール²⁾



1) 厚生労働省 平成9年度生まれ～平成19年度生まれまでの女性へ大切なお知らせ(2024年2月改訂版)より改変
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000918718.pdf> (Accessed Feb. 5, 2024)

2) 厚生労働省 医療従事者の方へ～HPVワクチンに関する情報をまとめています～(2024年2月改訂版)より一部抜粋・改変
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000901222.pdf> (Accessed Feb. 5, 2024)

! キャッチアップ接種の対象者が公費助成を受けられるのは、2025年3月末までです。

HPVワクチン接種予約

___回目

日時 ___月___日

___ : ___

医療機関名

1997年4月2日～2008年4月1日
生まれの女性に

知ってほしい!
子宮頸がん
予防

20～30歳代女性のがんの中で最も多いのは子宮頸がん※です¹⁾。
女性の年齢階級別がん罹患数と順位[†] (2019年)

部位 (罹患数)	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代	子宮頸部※ (2,843)	甲状腺 (639)	卵巣 (414)	乳房※ (332)	悪性リンパ腫 (175)
30歳代	子宮頸部※ (10,406)	乳房※ (4,020)	甲状腺 (1,366)	卵巣 (823)	子宮体部 (648)

†: 上皮内がんを含む集計があるがん種は、その罹患数に基づく。なおかつ、部位別の集計があるがん種はその罹患数に基づく。
※: 上皮内がんを含む

日本では、年間約10,000人が新たに子宮頸がん^{けい}と診断され¹⁾、約3,000人が命を落としています²⁾。

子宮頸がん^{けい}の95%以上は、
ヒトパピローマウイルス (HPV)
というウイルスの持続感染が原因です³⁾。



子宮頸がん^{けい}は、予防可能ながんです。
「HPVワクチン接種」と「定期的な子宮頸がん検診^{けい}」で
予防しましょう。

検診で見つかりにくいがん(腺がん)も増えていますので、ワクチンによる予防は大切です。
一方、ワクチンでは感染を予防できないHPV型もありますので、ワクチンとあわせて検診による早期発見も重要です。
国の指針としては、20歳以上の女性において、2年に1回の子宮頸がん検診^{けい}が推奨されています。

- 1) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録) 全国がん罹患データ (2016年～2019年)
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html (Accessed Feb. 5, 2024)
- 2) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計) 全国がん死亡データ (1958年～2022年)
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html (Accessed Feb. 5, 2024)
- 3) WHO. Cervical cancer. 17 November 2023
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/cervical-cancer> (Accessed Feb. 5, 2024)